

# 身体装飾、ピアス他

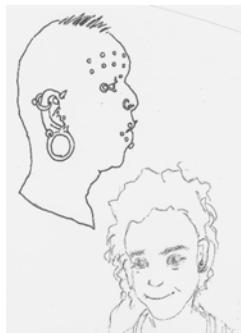
陶易王

た。ちじれ髪のその子があんまり可愛いので、しゃがんでそつと抱き上げると、私の首を抱いて頬にキスをしてくれた。その時、小さな耳たぶに金色のピアスが光った。子供の兄らしい少年が迎えに来るので、コインとキヤンデーを一つずつ持たせた。兄に抱かれた少女は手を振つて笑つた。

それ以来、私のピアスへの思いが変わつた。女の子のピアスは可愛い。

エジプトの古都アレキサンドリアの城塞から青い海を眺め、この海底にクレオパトラの宮殿跡が沈んでいるのだろうかと等と考へていると、スピーカーからコーランが流れ出した。祈りの時間であろう。

広場で人々が一斉に跪いて祈り始めた。急いで石段をおりて外に出る。海から吹いてくる風が涼しい。車の往来の激しい通りを避けて狭い横丁に入ると、ベビーギヤングの一団に襲われた。



以前、私は外来で恐ろしい人を見た。ペニス亀頭に差し込まれた金属の棒である。多分ピアスのつもりなのだろう

が、挿入部の脇から膿が出て感染が起つてゐる。除去したらどうか、と聞いたら、口をへの字に結んで首をふつた。恐ろしいが抗生素質を投与して帰つたものだ。

その後、診察に来ないからどうなつたかわからない。

日々に「バクシーシー！」と叫んで、小さな手を突き出す。ほぼ予想していたので、ポケットに用意したコインを出して手に載せてやる。「シユクラン」と言つて、子供らが散つて行く。

と、その時、一人2歳位の女の子が残つていたのに気がついた。